

## 白虎隊

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

世界の現実に対して過去はもはや存在しない。忠国の志は、もはや政治から失われたのである。

これらは新世界秩序に伴う政治という現実なのである。世界においてこれらに反した存在はもはや従う以外選択はないのである。

そのためその計画において現実はその反することはないのである。

会津における白虎隊は、忠国における死を行ったものである。第2次世界大戦において、全ての戦死者は、同じである。

それら歴史の皮肉は、今日の政治という現実において理解できるのである。

歴史は過去と決別し、新しい技術文明の創造を約束されているのである。これは現状の経済における次世代という現実が未来を有することを意味するのである。

これら新しい現実はその全ての人々がこれを追随しているのである。利益主義という現実なのである。

これは政治の後を、人々が追随するためなのである。

これらは新しい社会を形成し、人々における価値観の革命的变化を与えたのである。これらは既存現実への戦いであることは正しいのである。

戦いは、必ず勝利と敗北を有する。これは歴史の真実なのである。

勝利は世界を有し、未来を有する。敗北はこれを失うのである。